

使用前点検

1. 電池が装着されていることを確認してください。
2. ダストフィルタが汚れていないことを確認してください。
3. 本体に破損がないことを確認してください。

使用方法

1. 電源の入れ方

ブザーがピッと鳴るまで POWER/MODE ボタンを押します。
電源を入れ約 15 秒後にピッピッと 2 回音がしたのを確認できたら検知モードとなります。

2. エア校正の仕方

AIR ボタンを押し続け、ピッピッと 2 回音が鳴り、LCD の表記がガス名から ADJ に変わったらボタンを離してください。
ガス濃度表示がゼロ(酸素の場合 20.9vol%)になります。
<注意>: 新鮮な大気中で行ってください。

3. 検知の仕方

検知モードになっていることを確認し、センサ部が隠れないように装着してください。大気中の検知対象ガスを検知します。

4. 警報の鳴動/解除方法

[警報の鳴動]
ブザーが鳴動し、濃度表示・ランプが点滅します。

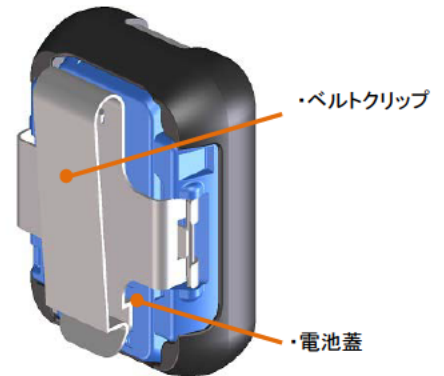
[警報の解除]
型式により、警報解除の方法が異なります。

- ・CO-03 の場合
検知対象ガス濃度が、警報設定値未満になると自動的に警報が解除されます。
- ・GP-03/OX-03/HS-03 の場合
検知対象ガス濃度が警報設定値未満(酸素は警報設定値以上)に回復したのち POWER/MODE、AIR のいずれかのボタンを押して解除してください。

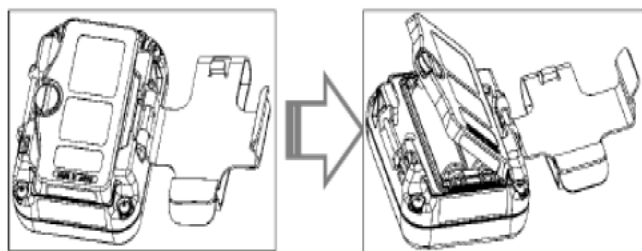
5. 電源の切り方

ブザーがピッピッピッピッと音が鳴り、LCD が消えるまで POWER スイッチを押し続けます。

【各部の名称】



電池の交換方法



乾電池仕様: アルカリ乾電池
 充電電池仕様: ニッケル水素電池
 (パナソニック社製 エネループ)

〈電池の交換〉: ベルトクリップを外し、電池蓋を開け 2 本の電池を新しいものに交換してください。
 充電電池の場合には、専用の充電器を用いて充電を行ってください。

- 〈注意〉: 電池を交換する際は、必ず本器の電源を切ってから行ってください。
 交換する電池は、2 本とも新しい電池を使用してください。
 電池を装着する際は、極性に注意してください。
 指定以外の電池を使用しないでください。
 電池を交換する場合は、非危険場所にて行ってください。

トラブルシューティング

症状	要因	処置
システム異常 『SYSTEM FAIL』	本体回路に異常がある	販売店または最寄りの弊社営業所まで修理をご依頼ください。
センサ異常 『SENSOR FAIL』	センサが故障している	販売店または最寄りの弊社営業所まで修理をご依頼ください。
電池電圧低下警報が表示されている 『BATTERY FAIL』	電池残量がなくなっている	電源を切り、非危険場所で新品の乾電池または満充電された充電電池に交換してください。
エア調整ができない 『AIR FAIL』 (GP-03/OX-03/HS-03)	本器の周囲に新鮮な空気を供給していない	新鮮な空気を供給してください。
スパン調整ができない 『CO FAIL』(CO-03)	適正な濃度のスパン校正ガスを供給していない	適正な濃度のスパン校正ガスを供給してください。
時計異常 『CLOCK FAIL』	内部の時計異常 電池を外した(または電池が切れた)状態で長時間放置された	日時設定を行ってください。尚、頻繁にこのような症状が起こる場合は、内部時計の故障が考えられます。

起こりえる不具合の原因究明の手助けとなるものを簡単に示しています。

ここに記載のない症状や、対策を行っても復旧しない場合は販売店または最寄りの営業所にご連絡願います。

本機器は保安機器ですので

6 か月に 1 回以上点検することをお勧めいたします。

注記: 詳細は取扱説明書をご参照願います。